

論点

苦しまれる
中小・零細

消費者は自分たちが払っている消費税の仕組みも知っていると思ってい

うのが私の実感だ。消費税を理解する上でポイントとは二つ。消費税は原則あらゆる商品・サービスの、すべての流通段階で課税される税金であること、そして納税義務者は消費者ではなく年間売上一千万円以上の事業者ということだ。

しかし事業者には納税義務があるために、利益を削り、コストを削り、場合によっては赤字になっても消費税を納税しなければならぬ。いまや

消費税が10%になれば、問題はさらに深刻化する一方、税率の15%、20%への引き上げという主張も出てくるだろう。

消費税をめぐってはマスコミ、特に新聞社の姿勢も問われる。税率が10%に引き上げられる時、新聞は食料品とともに税率が据え置かれる。ということとは、新聞社は消費税をめぐって安倍政権に逆らえないということをする限り、政府は新聞社に、永久に言うことを聞かせられる。

「社会保障のためはウソ」

「消費税は社会保障のために公平な税制」という見方がある。リベラル

ジャーナリスト 斎藤貴男氏

弱者いじめの消費税

弱者いじめのこんな税制では、日本は中小零細事業者が存在できない国になり、多くの労働者も働く場を失ってしまう。飲食店はチェーン店、商店はコンビニだけという社会になりかねない。

消費税には仕入れ税額控除という仕組みがあるために今後、直接雇用するより派遣社員の方が節税になるということで、従業員を派遣に切り替えるという事態も進む。

「社会保障のためはウソ」

「消費税は社会保障のために公平な税制」という見方がある。リベラル

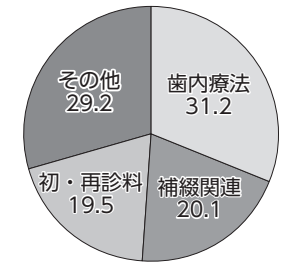
「社会保障の財源に」というのも大ウソ。先の引き上げの際、「増税分は全額社会保障に充てる」といわれたが、それまで社会保障に使われていた財源が別の用途に使われ、増税分が上乗せされたわけではない。

多くの人が、イカサマだらけの消費税増税のおかしさに気付いてほしい。

「歯内療法」「補綴関連」「初・再診」 3大不合理の速やかな改善が必要

2018年度診療報酬改定の評価では、「どちらともいえない」との回答が最多の49.2%を占めた。判断に迷う要因として、①改定率がわずかに0.69%にとどまったこと②初再診料のアップの一方で院内感染対策が義務付けられたこと③施設基準の届出要件の複雑化などが挙げられる。

(グラフ) 診療報酬で評価を
引き上げて欲しい事項 (%)



(表) 2018年4月改定の評価について (%)

	全体	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
良かった	3.6	9.1	1.6	5.1	3.0	0.0
どちらかといえば良かった	13.3	13.6	9.4	11.5	21.2	5.6
どちらともいえない	49.2	45.5	62.5	55.1	33.3	38.9
あまり良くなかった	25.0	13.6	21.9	19.2	33.3	44.4
良くなかった	6.9	9.1	3.1	9.0	6.1	11.1
無回答	2.0	9.1	1.6	0.0	3.0	0.0

南河内地区は、21日投票の富田林市長選挙が今後の南河内地域医療行政の動向を占うものと捉え、会員の投票判断に資するため医科協会と連名で候補者アンケートを実施。医療費助成の対象年齢引き上げを中心に考えをきいた。趣旨に理解を示した吉村よしみ、岡本さとこ、武藤宏の各氏から回答があり出馬表明順に一部を紹介する。

吉村氏は「救急医療と地域医療の充実、こどものいのちと健康を守る施策の充実を掲げています。『市民本位の市政を推進する』立場から、アンケート項目につきま

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

② 分析!! 2018年度 会員意見調査

2018年度診療報酬改定の評価では、「どちらともいえない」との回答が最多の49.2%を占めた。判断に迷う要因として、①改定率がわずかに0.69%にとどまったこと②初再診料のアップの一方で院内感染対策が義務付けられたこと③施設基準の届出要件の複雑化などが挙げられる。

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

「補綴関連」では低点数に加えて金属材料価格の高騰が二重苦となり医

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは HP osk-net.org 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

無料相談

法律 5月13日(月) 午後2時〜4時
税務 5月15日(水) 午後2時〜4時
雇用 5月16日(木) 午後2時〜4時

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

新人スタッフ総合講座

日時 5月12日(日) 午前9時30分〜午後4時

会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)

講師 午前・水原道子氏(元大手前短期大学ライフデザイン総合学科教授)

午後・歯科臨床・学術部講師団

会費 助手編7千円、衛生編8千円(ともにテキスト代含む)

定員 助手編90人、衛生編30人

※受講者全員に『デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック』(頒価4500円)を配布、『修了証』を発行します

歯科・歯科共催 雇用対策セミナー(2日間コース)

グループワークで募集・採用にまつわる悩みを解決! 労働条件通知書作成のポイント

日時 5月18日(土) 午後2時30分〜5時
5月19日(日) 午前10時〜午後4時

内容 1日目 「雇用管理の基礎知識」
2日目 「募集・採用のポイント」「グループワーク(事例検討と交流)」「実践編「労働条件通知書作成のポイント」

会場 保険医会館5階会議室

講師 堀口正二社会保険労務士(協会顧問労士)

会費 一人5千円(2日分)※初回に受領します

大阪府歯科保険医協会第54回定期総会 記念講演 歯髄幹細胞による歯髄再生医療―再生の革新的技術とは

日時 5月26日(日) 午後3時〜5時

会場 アートホテル大阪ベイタワー4階(弁天町)

講師 中島美砂子氏(元国立長寿医療研究センター研究所幹細胞再生医療研究部部長)

会費 無料 定員 200人

「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会 総会・市民講座

人生の最後まで自分らしく大事に過ごす(仮)

日時 6月9日(日) 午後2時〜4時

※連絡会総会を午後2時〜2時30分に開きます

会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)

講師 大井通正氏(医療生協八尾クリニック所長)

会費 無料 定員 100人

協会行事案内

お申し込みは HP osk-net.org 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564